



北海道バプテスト連合ニュース

全道にキリストの光を！

2023年3月発行 No.125

発行者 福田 雅祥 編集者 川内 活也

発行所 041-0806 函館市美原2丁目41番8号

函館美原キリスト教会内

http://hokkaidobapjimbo.com pw: jbc1947

【 巻頭言 】

かわち かつなり

連合書記 川内 活也

(帯広バプテスト・キリスト教会)



ごらん、冬は去り、雨の季節は終わった。花は地に咲きいで、
小鳥の歌うときが来た。この里にも山鳩の声が聞こえる。

いちじくの実は熟し、ぶどうの花は香る。

恋人よ、美しいひとよ。さあ、立って出たおいで

(雅歌 2 章 1 1 ~ 1 3 節 / 新共同訳)

2019年後半に発生したと言われる「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)」は、翌年頭から世界的感染流行となり、大きな社会影響を与えました。従来のコロナウイルスと違う「型」であることから、ウイルスそのものだけでなく「未知なるモノへの不安・恐れ」も社会全体に拡大していったように感じます。

感染拡大初期から「正しく認知し、正しく恐れることが大事だ」と警鐘が鳴らされていましたが、そうは言っても「やはり非常時には混乱が生じるもの」だということを実感する3年間だったように思います。

さて、このウイルスが人体に与えるリスクについては「未知なるモノから既知なるモノへ」かなり進んだことで、政府機関が薦めていた様々な制限も「正しく恐れる」方向に動き出しました。

もちろん、個々においては政治判断よりも先に「正しく恐れ」つつ、冬眠から目覚めた生きものたちのように、成すべき働きへ歩み出しています。北海道バプテスト連合も、この経験したことのない「規制の冬」を過ごす中、共に集まる活動が途絶えていましたが、少しずつ「直接対面の交わり」への歩みも再開され始めました。

今回の未知なる感染症に限らず、私たちは世の旅路の中で様々な不安や恐れ、悲しみや嘆きの「冬」を過ごす時があります。しかしその時も、インマヌエルなる主は共に歩まれ、そして「春」の訪れを告げられます。

「さあ、立って出たおいで」と。

信仰者・教会・北海道バプテスト連合に呼びかけられる主の招きの言葉に耳を開き、それぞれの「冬ごもりの場」から立ち上がり、主に招かれ・遣わされる場へと歩み出しましょう。

協力伝道TOPIC 音響・配信での教会間協力

報告者：西島啓喜（帯広教会）

6月に開催した研修センターの「音響・配信懇談会」で各教会がそれぞれ課題を持っていることが共有されました。「雑音が出る」「聞こえにくい」「配信がうまくいかない」等々。とりあえず、札幌と小樽の現状を調べ、応急措置をしての帰り道に、ふと思いついたのは旧リビングホープ教会に立派な音響設備があったことです。そこで現所有者の札幌教会に相談したところ「活用できるのであればぜひお使いください」とのこと。そこで、懇談会に出席した教会と相談して、小樽、札幌、室蘭で活用できそうなことがわかりました。ラックは札幌へ、ワイヤレスマイクは小樽へ、スピーカー、アンプは室蘭へ…などと適所にうまく配置することができました。

札幌の「雑音」は壇上にすべて組み直しシンプルな構成にして解決できました。小樽は赤外線ワイヤレスマイクが使い勝手が悪かったので電波式に変更し、会堂内と配信の音声を適正に調整しました。室蘭は楽器の音を効果的に響かせたいと願っていたので大きなスタンド式スピーカーとアンプがとても喜ばれました。旧リビングホープ教会の機材が一つも無駄なく新しい場所で新たな役割を果たすことになり嬉しい限りです。別な情報も入手しましたので音響・配信の改善を希望されている教会があればご相談いただければと思います。

教会間支援プログラムの活用を提案して下さった連合役員会、また、この作業に当たって、それぞれの教会の皆さんに本当に良くしていただき感謝です。



小樽教会



室蘭教会



リビングホープ教会



札幌教会

人事TOPIC

にしもとしなる
西本詩生牧師 就任按手式報告

札幌教会

西本牧師が着任してから1年半過ぎた昨年10月、やっと就任按手式を行うことができました。式のテーマは「みんなで精一杯祈る」です。

これまで行ってきた按手の形を、更にみんなで祈る形にできないかと考え準備し、当日は式に参加した一人ひとりが順番に牧師の頭や肩に手を置き、自分の言葉で祈りました。教会の事、牧師の事、牧師の家族の事…、それぞれ心を込めたその祈りは、クローバー型のカードに刻み、子ども達手作りの木に全て貼り付け、1本の「祈りの木」になりました。又、連合や各地の教会からもたくさんのあたたかい祈りが寄せられ、さらにさらに大きな「祈りの木」に！！心から感謝しています。



祈りに特化したこの就任按手式は、祈りの力強さとあたたかい愛が感じられました。そして一人ひとりが意識してこの教会と牧師を、祈りながら支えていくという事を改めて思わされたのではないかと思います。みんなの想いがひとつになったこの祈りの式は、神さまに強く届いたに違いないと思います。私にとっても一生忘れられない、嬉しく幸せな日になりました。

就任按手準備チーム 田仲瑠都子

=====

以下は、当日出席して下さった中から、札幌教会の教会員でない方々の声を紹介します。

=====

その日は晴れでした。礼拝堂に多くの人が集まり、西本先生の晴の舞台を心待ちにしているようでした。沢山の先生方の祝辞としてのお祈りがあり、歌があり(たぶん西本先生のお好きな歌も入っていたかと思えます) それまでの準備も大変だったと思いますが、石橋先生はもちろんのこと、それぞれの働きがあり、とても心のこもったものでした。

式全体のテーマが「祈り」で、一人ひとりが主体的に手を置き祈ることになっていて、私のように、移動が難しい者も、西本先生がそばにいらして手を置きお祈りすることが出来てとても嬉しい気持ちでした。よつ葉のカードに先生に対しての自分の気持ちを書き、そのカードがいっぱい貼られて、ひとつの大きな祈りの木になりました。それはとても圧巻でした。とてもすばらしい日でした、とともに、これからも西本先生そしてご家族にも恵みがありますように。

山出睦子

出席した全員が祈る新しい形の就任按手式。どんな式になるのか、ドキドキしながら参加しました。出席者が順番に西本牧師に手を置いて祈り、その祈りの言葉を書いたカードが1本の祈りの木となりました。遠く離れた所からもZoomで繋がって、たくさんの祝福の祈りに包まれた、温かい嬉しい式でした。札幌教会が祈りによって一つとされた、この恵みの時を皆さまとご一緒できて感謝でした。

西倉由美(恵泉バプテスト教会員)



『西本詩生牧師就任按手式 ～札幌バプテスト教会の祈りに加えられ～』

就任から一年以上の備えの時を経て、祈りをもって繋がり準備されてきた札幌教会の喜びあふれる時に加えて頂きました。「教会の言葉」から「時」も神さまから与えられたことを知りました。西本牧師が寄り添い祈る姿も、囲み祈る姿も、集いたくても集えないけれど祈りで繋がる姿からも「幸い」を感じる就任式でした。

西本牧師ファミリー北海道バプテスト連合へようこそ！これからも、どうぞよろしくお願いいたします。
旭川バプテスト教会 田森 恭子

協力伝道TOPIC

教会間交流・協力に感謝して 札幌 → 小樽 除雪交流

エイカーズ愛牧師から、札幌教会の特に壮年会の方が、小樽の雪の多さをニュースで見たらしく、「除雪に行きます」と連絡がありましたと聞いたのは1月22日。そして28日には小樽まで駆け付けてくれました。「毎年来て下さっているのでお断りしては」、と牧師に伝えましたが、もう行くようになっているとか。雪が降り寒い中、大人4名子ども1名で「除雪隊」が来ました。小樽教会の人たちは、仕事があったり高齢者で除雪は無理で。しかし雪は多く、申し訳なくて「あ～そこはしなくても」とつい言葉が出ます。除雪によって、瞬間に広い駐車場が姿を現しました。小樽教会では、せめて食事でも一緒に、お好み焼きを用意しました。会話が弾み、楽しい交流の場となり励まされた日となりました。(佐々木玲子)

～おいしいお好み焼き・ポテトサラダ・ロールケーキ・ごちそうさまです～

去る1月28日(土)、大人4名・子ども1名で編成された「札幌バプテスト教会・除雪隊」が、小樽バプテスト教会で、同教会の建物周辺の除雪業務を行いました。

このような時は、普通「奉仕」という表現を使うと思いますが、この続きを読んでいただければご理解いただけると思います。

私たちは、午前中の業務を終了する頃でした。

ちなみに、私は「カップめんの大盛天そば」を用意しており、お湯をいただければと思っておりました。すると、天からの！！いや、エイカーズ愛牧師から「お昼を用意してますよ！」との呼び声があり、もしかしたら、と心を躍らせながら、教会の食堂に入ったのです。するとアツアツに熱いられているホットプレートに、大きなボールに小樽教会女性会特製お好み焼き、ポテトサラダ、ロールケーキが用意されていました。小樽教会の女性会の方々が、愛情を込めて焼いてくださり、隊員は平均4枚のお好み焼きをいただきました。

そして私は満腹で眠気を感じ始めた時でした。隊長の石橋牧師の「これだけおいしい食事をいただいたのだから、食べた分だけ汗を流さなければ人の道に反する」と心の声が私に聞こえ、除雪隊はもちろん午後からも、お好み焼きパワーを除雪パワーに変えて、業務を実施したのであります。

天気は晴天で、いい汗を流ささせていただき、幸せな時間が流れました。

(山川俊男)



協力伝道TOPIC

「リビングホープ教会」報告

『元LH教会の建物解体と土地売却報告』

LH教会は、2021年4月末をもって閉鎖し、同年5月から札幌バプテスト教会（以下「札幌教会」）と合併するという形で、1989年7月以来続いた32年の歴史に幕を下ろしました。そして、LH教会に在籍した教会員は、すべて札幌教会に移籍しました。

もともとLH教会は宗教法人格をもたなかったため、LH教会の土地・建物は札幌教会名義となっていました。LH教会が宗教法人格を取得したら名義変更するという約束となっていました。法人格取得には至らなかったため、名義変更を行わないまま、合併することとなりました。

なお、2015年4月以降無牧師状態になってから、LH教会の会堂は、ますます施設の至る所に不具合が生じるようになっていました。特に冬場は、毎年のように、凍結による水道管破裂が起きました。雨漏りも会堂の至るところで起こっていました。また、建物が全体的に傾いており、2018年に起きた北海道胆振東部地震の影響もあってか、その傾きはひどくなる一方でした。LH教会からの要請を受け、設計会社を通して、建物の調査を依頼した結果、LH教会会堂の傾きは、居住していると人体に影響を及ぼすほどのものであることと、建築当時の情報があまりに少ないこともあり、その傾きを抜本的に解決する修復工事は不可能であることが報告されました。合併直前の2020年から2021年頃には、破裂箇所が多くなりすぎ、水道管を修理できる状態ではなくなり、付随して電気を使うこともできず、実質的には会堂を使用することができない状態となっていました。

合併後、LH教会の教会員を迎えた札幌教会は、この元LH教会の建物と土地をどのように扱っていくかを決断しなければなりません。コロナ禍で、話し合いを進めることが困難な中ではありましたが、2022年8月にもたれた臨時総会で、会堂を取壊し、土地を売却することを決断しました。

2022年12月末には会堂が取り壊され、土地は更地状態になりました。その後、建物を支える基礎杭を撤去する工事が予定されていました。ただ、建築時の資料が残されておらず、取り壊してみなければどれほどの杭が埋められているかがわからなかったため、取り壊し費用に加えて、実際埋められていた杭の数だけ撤去費が上乘せして請求されることになっていました。しかし、取り壊してみたら、杭はまったく埋められていなかったということがわかりました。建物の傾きの原因も、おそらくそのことに起因するものであろうということでした。長く親しまれた会堂を取り壊すことは、当然寂しさや痛みを伴う決断ではありましたが、安全面で考えれば、このタイミングで取り壊すことができたことは、主の導きの中にあつたことであつたと感じさせられています。

土地の売却に関わる諸手続きは、2023年3月中には、すべて終わる見通しです。札幌教会としては、今回の土地売却で得られる収入については、北海道バプテスト連合とよく話し合いながら、宣教の働きのために用いることができると祈っています。

なお、元LH教会会堂正面の壁面に設置されていた十字架は、取り外して札幌教会に運んできました。現在、この十字架を札幌教会の南側壁面に移設しようと準備を進めています。場所は変わりますが、元LH教会に掲げられた十字架は、札幌教会でなお掲げられ続けていくことになりそうです。

『生ける望みを原動力とする群れとして～LH教会の歩みを覚えて～』

札幌バプテスト教会 石橋大輔

生ける望みを原動力にし、進んでみ言葉の訓練を受け、キリストを模範として人に仕えます。

信仰の交わりを通して一つとなり、神に最高の自分を捧げます。

神の無償の恵みに応答し、聖霊の促しにより、新たな群れを生み出します。

これは、2010年頃に、リビングホープ・バプテスト教会(以下「LH教会」)がみんなで話し合い作成した“ミッション・ステートメント”です。LH教会が、無牧師状態3年目に入った2018年の11月に、教会の皆さんと話す中で、今後のことを決断していく上で、もう一度自分たちの“ミッション・ステートメント”を見つめ直してみてもどうかと提案しました。その時に、LH教会の皆さんが、このステートメントについて、以下のように説明してくださいました。これまでのLH教会の歩みを、連合の皆さんにも覚えていただきたいと願いつつ、紹介させていただきます。

~~~~~

「生ける望み」

教会名である「リビングホープ」からきています。

「進んでみ言葉の訓練を受け」

教会学校での学びが想定されました。無牧師状態になってからも、しばらくは教会員だけで続けられました。

「キリストを模範として人に仕えます」

教会の中での奉仕と、それぞれの現場での“隣人”への証しがイメージされました。札幌でも東区という生活困難を抱える人たちの多い地域で、人々に仕えていきたいとの思いが共有されました。

「信仰の交わりを通して一つとなり」

祈禱会のことなど教会員の交わりがイメージしていたのですが、当初は“信仰による”という言葉は入っておらず、後からそれを加えました。礼拝の冒頭のあいさつで「家族的な交わりを大切にしています」と説明したり、礼拝の中で握手をして回ったりするなどということにも、具体的な形で表されていました。

「神に最高の自分を捧げます」

礼拝に向かう姿勢が意識され、奉仕や献金を神さまに捧げていくことを語ろうとした言葉です。“最高の”という言葉も、こだわって加えました。

「神の無償の恵みに応答し」

自分たちの教会は、北海道バプテスト連合やバプテスト宣教団、多くの個人からの献げ物によって教会が成立していったということへの感謝の思いを込めて加えた言葉です。

「聖霊の促しにより、新たな群れを生み出します」

新たな伝道所を生み出していくことをイメージしたのですが、それは“聖霊の促し”によってしかかなされないということも、皆で確認もしました。40人の教会員・400万円の経常献金・3伝道所開設というような具体的な目標数も設定しました。

## ◆以下、元リビングホープ・バプテスト教会の仲間たちの声を紹介します◆

思いでのつまった会堂が取り壊されたことは色々な気持ちがあがりますが、神様を思う皆が集うところが教会であるので、新環境でも信仰の友と励まし合いながら進んでいきたいです。 青木俊彦

建物はなくなっても思い出は見えないものとして心に残ってます。私達の愛したリビングホープ教会。さよなら。今までの感謝と共にありがとうございました。 村川節子

今までのリビングホープ教会へのお祈りと支えを感謝します。わたし個人としては、色々な事を勉強させていただきました。ウォーカー先生を通して、メッセージのご奉仕もさせていただきました。ありがとうございました。 小浅和之

私はこのリビングホープ教会によってイエス様の存在、聖霊の存在を確信しました。今、私が望む事は「平安」であり「導き」なのです。私は今まで一人で何もかもを行ってきました。しかしイエス様に会い聖霊の力を借りて、私は変わりました。もう一人じゃないのだと！そこにはイエス様がおり聖霊がおり教会の家族がいるのです。私はもう孤独ではないのです！  
故・富樫智之(2022/12/8 召天)

現実のものとして見えてる教会がなくなるのは 残念ですが 神様は自分の気持ちの中に在るということを感じて毎日をご過ごしていきたいです 新たな気持ちでまた通い始めたリビングホープでの時間は子どもの頃には分らなかった充実したものでありました。この時間をずっと覚えていきたいです。  
渡邊敦子

私が仙台に帰ってきてから、合併と会堂の取り壊しの出来事があり、遠くにいながらもこれらの出来事が私の人生にとって重要な節目でもあったと感じています。元リビングホープのメンバー一人一人と、札幌教会の皆様の祈りと決断があったことを覚えてたいと思います。イエス様は、あの場所で、たくさんのお会いと経験をさせていただきました。本当にありがとうございました。  
武田増満

主の愛の中で 共に手をつなぎ／この世に愛をしめす  
／喜びあふれるから 互いにつかえ 許しあうなら  
／私達はひとつの主の家族になる  
主の愛の中でともに手をつなぎ／  
主の御名により私達は御国の家族／ひとつの家族  
リビングを思ったら、ずっとこの賛美が出てきました。  
皆さんは私の家族です。ありがとう。 山本美幸



リビングホープ教会に行って神様を信じることができ、  
出会えてよかったです。 吉野恵理香

一つの区切りではありますが、終わりではありません。  
ここまで導いてくださり、すべてを良しとして新たな光を示してくださる神さまに感謝です。定免直未

私はリビングホープ教会の皆さんに会えてイエス様に感謝致します。教会の赤い建物で大切な思い出を作りましたね。皆さんと一緒に讃美歌をうたったり、二階で昼ご飯を食べたり好きでした。建物が取り壊したけど、あそこで作った思い出は永遠に私たちの心に残ります。私たちはイエス様の教会ですから、ホープはいつまでも生きています！  
ソマリバ マルティン

リビングホープ教会の思い出といえば、まずは何より「楽しかった」という思いです。看板を修理したり、雨漏りの対策をしたり、みんなで作業したりもしました。最初に教会に入るのには勇気がいりましたが、行ってみれば、安心して過ごすことができました。三宅牧師に「神さまには手もあるし、足もあるよ」と言われた言葉は「本当だなあ」と感じながら過ごしました。  
大森秀勝



— 4 教会が協力して伝道集会をしました！ —

**協力伝道TOPIC****苦小牧教会伝道集会報告**

主の尊い御名を讃美します。

苦小牧教会では、2022年11月12日と13日に伝道集会を行いました。1日目はコンサートです。函館美原教会の森洋子さんのピアノ演奏で、同教会の福田美代さん、函館教会の本多依子さんお二人の美しい歌声で7曲の讃美と証し。途中、「ハレルヤ」という曲を振り付きでこの日初めて教会にきてくださった方も一緒に皆で合唱し、礼拝堂いっぱい讃美が響き渡りました。お二人の歌声をある教会員の娘さんは劇団四季の講演を見ているようだと言え、絶賛していました。

室蘭教会からは、イマンさん、ダニエルさんのギター伴奏で、浅井恵美さん、小山昌美さん、タンバンさん、サンドロさん、吉田尚志牧師による2曲の讃美。1曲目のいつくしみ深きはインドネシアのバタック語で1節を歌ってくださり、特に留学生の方々の明るさと讃美にとても元気をもらいました。

福田雅祥牧師のメッセージは、有名な「You Raise Me Up」の歌詞から聖書を紐解いて、神様がいつも共にいて助け起こしてくださると語ってくださいました。その後、福田美代さん、本多依子さんが「You Raise Me Up」を歌ってくださいました。

また、函館教会の本多啓示牧師や函館美原教会の小瀬川聖子さんも、今回応援に駆けつけてくださいました。

2日目の特別礼拝は「いのちより大切なもの」と題してヨハネによる福音書12章23～25節より、イエス様の愛と十字架による救いについて福田雅祥牧師が宣教をされ、福田美代さんと本多依子さんによる特別讃美もあり、神様から大きな祝福を受けた礼拝となりました。



そして、何よりも嬉しいことは、特別集会に来られた男性1名と、その後教会の立て看板を見て教会に来られたインドネシア人女性1名が、今も続けて礼拝に来られていることです。神様の御名をあがめます。

私達苦小牧教会は、無牧師になってから函館美原教会とのパートナーシップにより福田牧師が月に1回来てくださり、他はビデオメッセージを送ってくださいました。また、室蘭教会は2カ月に1回吉田牧師を宣教に送ってください、本当に恵まれています。昨年2人の姉妹を主の御許に送り、高齢化と教会員の転勤により働き人が減少、また、コロナの影響もあり礼拝出席者も減少しています。

しかし、今回の道南ブロックの皆さんの支援によって、一緒に主の御名を讃美し御言葉を分かち合うことがこんなに素晴らしい事かと感激し、教会員一同が癒され、元気をもらいました。そして、神様は苦小牧教会を愛しこの地で伝道に立つということを改めて示してくださいました。

ひとつの教会ではなかなかできないことも、このような協力によって可能になったことは、本当に嬉しいことです。協力伝道に送り出してくださいました各教会の皆様お一人お一人に感謝致します。また連合からは、教会間協力の支援金をいただきました。心から感謝致します。

苦小牧バプテスト・キリスト教会 小谷弘美

**連合活動TOPIC****HYP委員会 第二回青少年の集い  
「みんなでインドネシアをかじっちゃおう！」開催報告**

開催日:2023年2月23日(木/祝)・会場:室蘭教会・参加者21名

この集いでは、室蘭バプテスト・キリスト教会のインドネシア人留学生メンバーに協力をいただき、インドネシアの教会や文化の一端を体験しました。また、日本の国に生まれ育ち、日本の教会に来てい  
ることでは見えにくい、他言語・他国籍の人たちが日本の多くの教会で直面しているであろう経験の一  
端を知り・共有する機会も持ちました。

留学生メンバーによるインドネシア語のみで行われた開会礼拝はそのような他言語・他国籍の人た  
ちの気持ちを知る機会になったと思います。言葉がわからない不自由さ。聖書を理解できる言語で聴  
きたいという渴望。知らない言語が響く中であつてもなお祈りや賛美を共にすることの喜び等々。この  
機会が連合諸教会に集っている他言語・他国籍の人たちに向かって、また一歩、歩み寄るきっかけに  
なれば嬉しいです。

報告者:吉田尚志



←インドネシア語での礼拝←



→参加者集合写真→

**総会TOPIC****臨時総会にて2023—24年度連合役員選出**

2023年1月20日(金)に書面決議にて開催された臨時総会(総会議長:原田恵雨氏【苫小牧】・総会副議  
長:川内裕子氏【帯広】)において、連合新役員に下記の4名が選出されました。

|                  |               |
|------------------|---------------|
| ふくだまさよし          | かわちかつなり       |
| 連合会長 福田雅祥氏(函館美原) | 副会長 川内活也氏(帯広) |
| さわだみつき           | ほんだよりこ        |
| 書記 澤田貢希氏(札幌)     | 会計 本多依子氏(函館)  |

新役員体制の下、北海道バプテスト連合における協力伝道の働きが、ますます主の祝福の内に導かれま  
すように祈り・支え・御協力下さい。

**2023年度連合総会開催に向けて**

2023年度連合総会は「3ブロック分散会場形式」にて、4月29日(土)午前10時から午後3時で開催いた  
します。各ブロック会場は室蘭教会(道南ブロック)・札幌教会(道央ブロック)・帯広教会(道東ブロック)とな  
ります。詳細については、連合役員会報告や後日お送りする総会関係諸案内をご確認下さい。

**【連合への諸送金のご案内】** ※取扱いはすべて「ゆうちょ銀行」となっています。

- |          |           |                |                |
|----------|-----------|----------------|----------------|
| ◎ 協力伝道献金 | <名義・記号番号> | 北海道バプテスト連合     | 19000—17922911 |
| ◎ 災害対策募金 | <名義・記号番号> | 北海道連合災害対策委員会   | 19000—21316651 |
| ◎ 教役者会献金 | <名義・記号番号> | 北海道バプテスト連合教役者会 | 19060—51722781 |